

第10回 FMくらら857放送番組審議会議事録

1. 開催日時 平成29年5月15日(月)11時00分～11時54分

2. 開催場所 ケーブルテレビ株式会社

3. 委員出席

審議委員総数 8名

出席委員数 7名

■出席委員(敬称略)

茅原 剛 会長(栃木市総合政策部長)

岸 英司 副会長(栃木商工会議所事務局長代行 総務課長)

高橋 一典 委員(栃木市教育委員会教育部長)

高崎 尚之 委員(栃木市産業振興部長 栃木市観光協会専務理事)

寺崎 耕 委員(栃木警察署長)

増山 政廣 委員(栃木市消防本部消防長)

大橋 良久 委員(下野農業協同組合企画総務部長)

■放送事業者側出席者

高田 光浩 (ケーブルテレビ株式会社 代表取締役)

村上 正子 (ケーブルテレビ株式会社 取締役)

小林 康行 (ケーブルテレビ株式会社 執行役員 兼 事業本部長)

木村 嘉孝 (営業部営業一課課長)

大川 進 (コンテンツ部課長)

石田 美也子 (コンテンツ部FMグループ係長)

清水 研児 (コンテンツ部TVグループ係長)

4. 報告事項

事業運営状況に関する報告に続き、対象番組等について、各委員より感想・意見・疑問点等を挙げていただき、他の委員と意見を交わす形式にて議事を進行した。必要に応じて放送事業者側出席者が説明・回答した。

5. 審議会会長互選

早乙女洋会長の退任に伴う会長の互選が行われ、茅原剛委員が選任された。

6. 議事

①4月16日（日）11時・12時台放送「とち介のお誕生会 2017」

- (事務局) 栃木市総合運動公園総合体育館にて開催された栃木市マスコットキャラクター「とち介」のお誕生会の様子を会場から中継レポート。
- (委員) どこでイベントを実施しているのかアナウンスの回数が不足していた。
- (委員) お出かけの動機付けとして現場からの中継は臨場感が伝わり効果がある。誕生会がテーマなので、とち介の様子にもっと触れると良かった。スタジオのパーソナリティと現場リポーターとのかけあいがあると内容に厚みが出ると思う。
- (委員) 市長挨拶の音声は遠く聴きづらかった。要旨を伝える程度でも良かったのでは。リポーターはテンポがあり良い印象だった。他のゆるキャラの情報や家族連れ以外のインタビューもあると良かった。
- (委員) 駐車場の様子、どんなものが売れているのか、室内履きが必要など、欲しい情報を伝えていた。来場者が楽しむ様子が伝わり良かった。
- (事務局) 挨拶をそのまま放送するのではなくご本人に直接インタビューさせていただくようにする。「リスナーに代わって聴く」という視点で、スタジオと現場のかけあいを増やしていく。公式 Facebook に掲載されているコメントを紹介するのも「とち介」のことを伝える手段となる。

②4月26日（日）18時～19時放送「そこが知りたいっ！栃木市」

- (事務局) 4月スタートの新番組。第1回は都賀地域の鷲宮神社宮司をお招きし、神社の由来やお賽銭の考え方など身近な神社について掘り下げた。
- (委員) 知らないことも多く勉強になった。開局時から比べても番組に厚みが出て充実してきたと思う。リスナーの要望をリサーチしてよい番組づくりを。これから災害が多い時期を迎えるので、これまでの反省をいかして取り組んで欲しい。
- (委員) 神社に関する一般的な内容が多く、鷲宮神社とその周辺地域の歴史や習慣についてももっと聴きたかった。昔だけでなく今の栃木市もテーマになるのでは。
- (委員) 栃木市をプロモーションする上で、市内外に栃木市の魅力を伝える番組としてとても良い。放送を通じて予備知識を得て興味を持ってくれる。ぜひ番組を続けて欲しい。
- (委員) 専門用語があった。初歩的な質問も入れてわかりやすくするとより聴きやすいと思う。
- (委員) パーソナリティが下調べをしっかりとしているのが感じられた。こうした情報を蓄積していけば貴重な資料になるのではないか。
- (事務局) 企業や職人もテーマになりうる。テーマが特定のジャンルや地域等に偏らないよう視点を広げて選定していく。今後も聴いている人の立場を意識して番組づくりをしていきたい。

7. 審議機関の答申又は概要の公表

FMくらら857ホームページに掲載（平成29年5月掲載）